3

つの

強

保土谷化学グループの事業概要

── 機能性色素セグメント

https://www.hodogaya.co.jp/products/segment01/





保土谷化学のDNAである 「有機合成技術」等を駆使し、 グローバルで、顧客ニーズを 具現化する力

> 有機ELの各種材料を トータルで提案可能なラインナップ

> > 世界シェアでトップクラスの アルミ着色用染料

世界オンリーワンのカラートリートメント染料

● 有機 EL 材料

スマートフォンやタブレット、スマートウォッチ等のディスプレイとしてその需要が拡大中であり、今後はテレビや車載用分野への展開が期待されております。また、有機EL材料の応用技術として独自開発した、PCR診断キット用材料(蛍光材料、消光材料、プローブ等)は高い評価を受け、新たな分野へも展開しております。

● イメージング材料

複写機やプリンターの機能の発揮になくてはならない重要な 材料であり、OA環境の高精度化に貢献しております。

色素材料

独自の技術による染料製品が、高品質品として国内外から高い評価を得ております。(アルミ着色用、文具用、カラートリートメント用、カラーフィルター用等)

● 天然色素

食品に色を添え、食欲を増進させる等重要な役目を担っており、保土谷化学はそのパイオニアとして、食品のおいしさや楽しさの演出に貢献しております。また、家電等の着色にも使用されており、環境に配慮した用途を拡大しております。

「SPEED25/30」に おける基本戦略

有機EL材料

新製品開発による販売の拡大、新たな海外 拠点の設置による一層のグローバル化

アルミ着色用染料

環境対応型製品の開発による 販売拡大 バイオ事業の拡大 診断用から医療用への 展開

中期経営計画の進捗

- ●有機EL材料は、有機ELディスプレイの用途拡大とともに新製品での 採用等により販売が拡大しております。競合各社との開発競争が非常に 厳しく、高性能・低コストが求められることから、一層の研究開発強化に 取り組んでまいります。
- 有機 EL 材料の応用技術として開発した PCR 診断キット用材料の需要は減少しましたが、診断薬用から医薬用への展開を進めております。
- ●アルミ着色用染料は、環境対応型製品の上市に向けた取り組みを強化してまいります。
- 当セグメントにおいて、一部の製品群を再編し、新しいポートフォリオの 構築を加速します。

売上高・営業利益



■ 売上高(左) • 営業利益(右)

関連するグループ会社: **SFC CO., LTD.** 事業内容: 有機EL材料およびバイオ材料の製造・販売 所在地:89, Gwahaksaneop 5-ro, Ochang-eup, Cheongwon-gu Cheongju-si, Chungcheongbuk-do, 28122 Korea ホームページ:https://sfc-dye.com/



保土谷化学グループの事業概要



の

機能性樹脂セグメント

https://www.hodogaya.co.jp/products/segment02/





道 基礎化学品セグメント



「ホスゲン化技術」等を駆使し、 スペシャリティ品をグローバルに 展開できる力

> 世界トップクラスの有機合成技術を 駆使したウレタン原料

環境に配慮した、 特定化学物質を含まない防水材

世界シェアでトップクラスの樹脂材料・ 医薬中間体・特殊繊維材料

●樹脂材料

ウレタンに柔軟件や弾件 (ゴムのような特件) を持たせる ために必要な、PTGと呼ばれる材料が中心となります。 ウレタンは、衣類、自動車部材、レジャー用品等の幅広い 分野で使用されております。なお、環境に優しく、従来と 同等の品質を保つ製品として、主原料を石油系から植物性 由来に切り替えたバイオPTGに注力しております。

● 建築材料

他社に先駆けて開発されたウレタン塗膜防水材がその 主軸です。ウレタン塗膜防水材は、オフィスビル、学校の 屋上や大型店舗の立体駐車場の屋上防水等、幅広く使用 されております。

● 特殊化学品

長年にわたり蓄積してきた有機合成技術や独自のホスゲン化 技術等を駆使した中間材料や添加剤です。医薬品、化粧品 分野など、さまざまな分野のお客様の特殊な要望に、 きめ細かにお応えしております。

長年培った過酸化水素の 「製造技術」を基に、 新規用途へ展開する発想力

50年以上にわたり蓄積してきた 過酸化水素製造の経験・知見

過酢酸、動物薬をはじめ 多岐にわたる誘導体を作る研究開発力

土壌改良等、地球環境に貢献する 用途を展開する発想力

● 保土谷化学では50年以上にわたって、過酸化水素および その誘導品を開発、製造、販売しております。

●過酸化水素は、水と酸素に分解するという特徴から、 環境に優しくクリーンな製品として、幅広い用途で皆様の 生活をサポートしております。過酸化水素は、従来からの 紙パルプの漂白や工業薬品向けだけではなく、動物薬 などへの展開により、積極的に販売分野を拡大して おります。

● 過酸化水素の誘導品として、過炭酸ナトリウムと過酢酸が あります。過炭酸ナトリウムは、漂白剤や洗浄剤として 使用されており、過酢酸は、日本で初めて食品分野向けの 製造許可を取得し、現在その展開を加速しております。

「SPEED25/30」に おける基本戦略

関連するグループ会社:保土谷建材株式会社

事業内容:土木・建築材料の製造・販売

新規ポリオールの上市

PTGのバイオ化による グリーンケミストリーの推進 ホスゲン誘導体での 新規受託品の開発・取り込み

中期経営計画の進捗

- 樹脂材料では、ウレタン原料であるPTGにおいて、環境に配慮したPTGの バイオ化をさらに展開し、新規ポリオールの開発および上市等、「グリーン ケミストリー」を推進してまいります。
- 建築材料事業は、材料販売が好調に推移しており、2019年に投入した 製品を軸に、販売増を目指してまいります。
- 特殊化学品事業は、医薬向けおよび剥離剤向け等が好調に推移して おり、設備能力の増強検討も進めております。

売上高・営業利益



所在地:〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号 TEL 03-6852-0478 (大代表)

ホームページ: http://www.hodogaya.co.jp/hcp/

「SPEED25/30」に おける基本戦略

過酸化水素 半導体向け、新規分野への展開

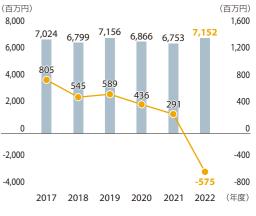
食品添加物用途の拡大

水素社会到来へ備えての基礎検討

中期経営計画の進捗

- 過酸化水素は、紙パルプ向けや工業薬品向けで需要が減少しましたが、 価格転嫁等により増収となりました。
- ●原燃料価格高騰の影響は継続するものと思われますが、各種コスト ダウンの推進による事業収益の改善と新たな市場が見込まれる食品 添加物用過酢酸等において、新規顧客の獲得、販売増を目指してまいり ます。

売上高・営業利益



■ 売上高(左) ● 営業利益(右)

関連するグループ会社: 桂産業株式会社

所在地:〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号 TFI 03-6852-0490 (大代表) 事業内容: 化学品の仕入・販売 ホームページ: http://www.katsura-ks.co.jp/



33 保土谷化学 統合報告書 2023 34

『アグロサイエンスセグメント

https://www.hodogaya.co.jp/products/segment04/





論物流関連セグメント

https://www.hodogaya.co.jp/products/segment05/





「製剤化技術」を基に

魅力ある製品を開発する力

多っの

国内シェアで トップクラスの家庭園芸用除草剤

常に新しい製品を上市する提案力

農業用酸素供給剤等除草剤以外にも展開する研究開発力

● アグロサイエンスセグメントの製品は、農耕地から生活環境、鉄道、山林、ゴルフ場での雑草、病害虫管理、環境保全に至るまで、幅広い分野で貢献しております。

- 自社原体を中心とした各種原体を活用し、現地、お客様の ニーズに合わせ使いやすさと安全性を兼ね備えた新たな 製剤開発を継続しており、とりわけ、家庭園芸や緑地 管理で使用される除草剤は、業界トップクラスのシェアを 誇ります。
- ●気象条件等により悪化した土壌環境を改善し、作物の 安定生産につなげていくための土壌改良資材として、 酸素供給剤の製造ならびに市場開拓も行っております。

危険物・化学品の 「取り扱いノウハウ」を 活かし、安心・安全を運ぶ力

つの強っ

日本初の苛性ソーダメーカーとして培ってきた危険物取り扱いノウハウ

横浜・郡山・南陽の好立地を活かした 保管・輸送サービス

顧客ニーズに合わせて ドア・ツー・ドアのサービスを提供 物流関連事業は、保土谷化学グループが100年以上 蓄積してきた、危険物・化学品等の取り扱いのノウハウを 活かしており、化学業界を超えた幅広い分野のお客様 から評価をいただいております。

- ●横浜、郡山、南陽の3ヵ所に大規模設備を保有し、特に、 横浜営業所は日本を代表する横浜港の近隣という好条件 から、輸出入の拠点として多くのお客様に活用いただいて おります。郡山、南陽においても化学品、また重量物、 機械、プラント等、貨物に適した保管・輸送サービスを 行っております。
- 2021年10月より、南陽営業所において、国内では稀少な、 危険物・毒劇物のISOタンクコンテナを取り扱う保管・ 加温事業を開始いたしました。

「SPEED25/30」に おける基本戦略

非農耕地用除草剤分野への展開強化

過酸化水素・誘導品を用いた 農業資材分野への用途拡大 農業資材分野向け製品の 生産能力増強 「SPEED25/30」に おける基本戦略

幅広い分野への 保管サービスの提供強化

国際物流事業のさらなる拡充

ISOタンクコンテナ保管・加温事業の拡大

中期経営計画の進捗

- ●家庭園芸向け除草剤の需要後退等により減収となりましたが、収益を 確保しつつシェアを回復すべく、魅力ある商品の投入に向け、取り組んで まいります。
- ●基礎化学品セグメントおよびアグロサイエンスセグメントにまたがる部分では、中期経営計画「SPEED25/30」の事業戦略ロードマップにおける「新たな事業領域:環境重視型農業資材」の重要施策として、保土谷化学の過酸化水素を用いた「酸素供給剤」と朝日アグリア株式会社の「堆肥」との複合農業資材を新たに共同開発し、今後の事業化に向け検討を進めてまいります。

売上高・営業利益



■ 売上高(左) • 営業利益(右)

中期経営計画の進捗

- ●国内外での経済活動の回復に伴い、輸出取扱量が堅調に推移しております。
- 化学メーカーにおける物流事業として、危険物・毒劇物の取り扱い ノウハウを活かしたISOタンクコンテナ保管事業を2021年10月より開始 しており、さらなる顧客獲得に向け、取り組んでまいります。

売上高・営業利益



■ 売上高(左) • 営業利益(右)

関連するグループ会社: 保土谷UPL株式会社

事業内容: 農薬の製造・販売 所在地: 〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号

TEL 03-6852-0500 (大代表)

ホームページ:http://www.hodogaya-upl.com/

関連するグループ会社: **保土谷アグロテック株式会社** 事業内容: 農薬の製造・販売

所在地:〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号 TFI 03-6852-0510 (大代表)

ホームページ:http://www.hodogaya-agrotech.co.jp/

関連するグループ会社:保土谷ロジスティックス株式会社

事業内容: 倉庫業、貨物運送取扱業

所在地:〒105-0021 東京都港区東新橋一丁目9番2号

TEL:03-6852-0520(大代表)

ホームページ:http://www.hodogaya.co.jp/hlc/



35 保土谷化学 統合報告書 2023 36